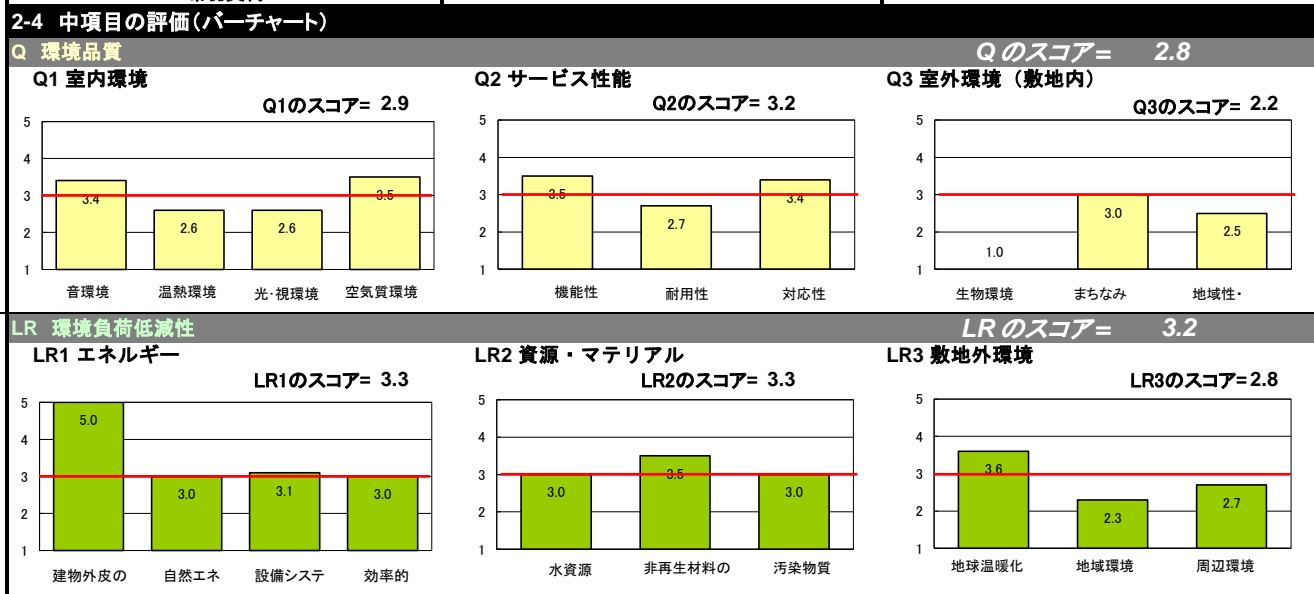
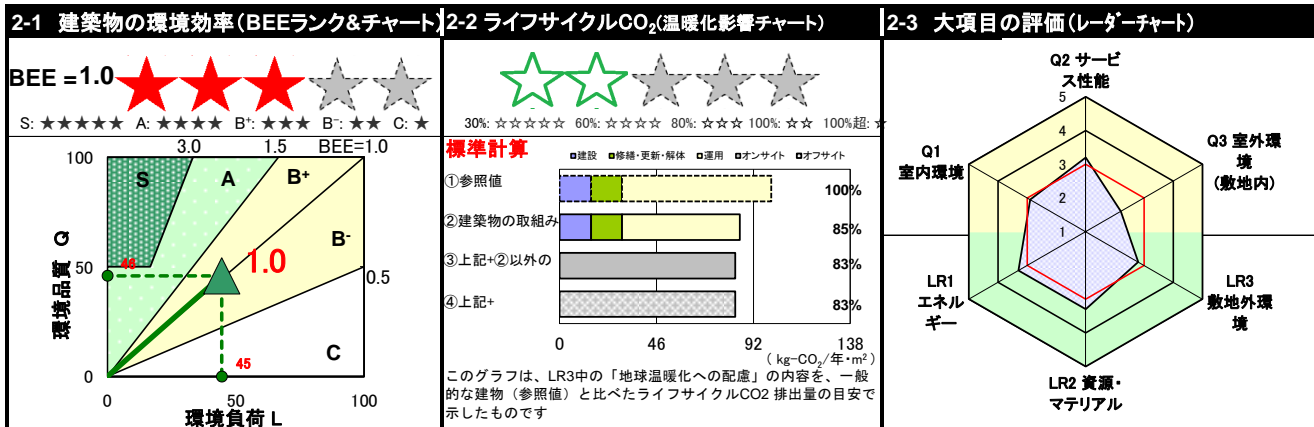


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪信用保証協会 堺支店新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府堺市堺区熊野町東3丁9番、	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	47 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年8月2日
敷地面積	820 m <sup>2</sup>	作成者	小門 泰治
建築面積	461 m <sup>2</sup>	確認日	2019年8月2日
延床面積	2,233 m <sup>2</sup>	確認者	小門 泰治

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内環境の向上に配慮し、視環境の向上や、空間のゆとり、快適性の向上に努めた。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>グレア対策としてブラインドや庇にて屋光を制御することで、視環境の向上をはかった。また、喫煙スペースな明確に室を分け、室内環境の向上に努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空間のゆとりの確保やリフレッシュスペースを設けることで快適性の向上に努めた。また、内装も耐久性の高い床材、トイレについては防汚性の高い内装材を採用し維持管理に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>屋上緑化を設けることで、室外環境の向上に努めた。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁面に断熱材を設ける等、建物の熱負荷抑制に努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS壁、移動式間仕壁の採用により、再利用可能性向上に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>建物利用者のための駐輪場を配置し、利便性を高めた</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪信用保証協会 堺支店新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区熊野町東3丁9、11、12	1	B+
	主用途/延床面積	事務所 / 2,232.97 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	■■■■●
みどり・ヒートアイランド対策	2	■■●●●
エネルギー削減	3	■■■●●
建物の断熱性	5	■■■■■
安全快適な暮らし	3	■■■●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.2	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	